

◆「認知症サポーター養成講座」を開催しました。



(講義風景)



(オレンジリング：認知症サポーターの証です。)

平成29年5月18日(木) 筑後信用金庫本店4階にて、業務終了後(18:00~19:30)、久留米市健康福祉部長寿支援課(キャラバン・メイト事務局)の協力のもと、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。(参加職員47名)

当金庫は、平成26年4月に「認知症サポーター100万人キャラバン」として標記養成講座を開催しました(参加職員199名)。サポーターは、平成28年12月末現在全国に約850万人活躍されているようです。当金庫でも、今回は平成26年4月以降の入庫職員等が参加し、当金庫職員のほぼ全員がサポーターとなりました。

日本の高齢化社会は、2007年に超高齢化社会に突入し、厚生労働省によると平成24年の認知症高齢者は、462万人(高齢者の15%)であり、10年後の平成34年には認知症高齢者は700万人を超え、高齢者の5人に1人が認知症になると試算されています。この現実を踏まえ、認知症に関する正しい知識を習得し、当金庫でも来店される高齢者の方、または訪問先の高齢者の方へ質の高いサービスを提供し、高齢者の方にとっても安心して暮らせるまちづくりへの協力ができるように考えています。

講義は、久留米市健康福祉部長寿支援課(キャラバン・メイト事務局)によるテキスト中心のわかりやすい説明を聞き、途中DVD(金融機関窓口編)を観ながら小グループで検討・発表をしてとても参考になりました。日常業務及び日常生活でも活用したいと考えます。

以上